



®環境省

エコアクション21



上村紙業株式会社
第77期

環境経営活動レポート

(2022年6月~2023年5月)



上村紙業株式会社 SDGs 宣言

上村紙業株式会社は、持続可能な社会の実現を目指して
積極的に活動を推進します。



発行日:2023年11月22日

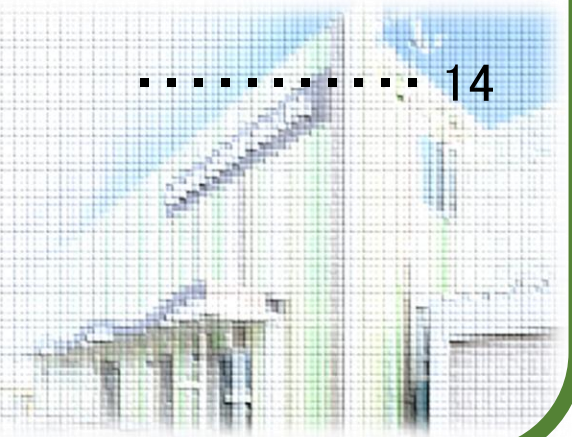


Creating Packages & Printing Since 1919

上村紙業株式会社

目 次

I.会社概要	1
II.環境組織図 ^{環境省}	2
III.環境経営方針	3
IV.環境経営目標と実績	
IV-1、達成状況①	4
IV-2、達成状況②	5
IV-3、環境推移グラフ	6
IV-4、マテリアルバランス	7
V.環境経営計画と実績	
V-1、環境負荷削減活動	8
V-2、環境保全活動	9
V-3、環境経営計画(小倉工場)	10
V-4、環境経営計画(到津事業所)	11
VI.関係法令	12
VII.代表者による評価・見直し	13
VIII.後付け活動成果	14



なるほど！提供カンパニーであり続けるために



代表取締役社長
上村 篤弘

弊社は、大正8年(1919年)に創業し、お饅頭の箱作りからスタート致しました。以来100有余年、事務用印刷物、段ボール箱、産業用包装紙、コンピュータ用連続帳票、商業用カラー印刷物、紙器箱等、その時代々々に求められる紙加工品を製造・お届けし紙加工の総合メーカーとして、数多くのお客様にご愛顧いただいて参りました。

その間、なるほど提供カンパニーを経営理念に掲げ、人財の育成と強固な組織作り生産設備の増強と品質マネジメントシステムの構築など、お客様にご納得いただく品質・納期・コストの競争力と、「なるほど！」と感動いただけるデザイン力・提案力を高めて参りました。

また、地球環境への負荷を削減するためのエコアクション21環境経営マネジメントシステムの認証取得や、個人情報保護のためのシステム作りなど、経営力を高める努力も合わせて行って参りました。

そして、平成29年(2017年)には、北九州市小倉北区高浜に小倉工場を開設し、印刷・パッケージ製造ラインを到津事業所より移転。パッケージ製造事業を強化して、よりお客様のご要望にお応えできる企業として邁進して参ります。今後とも今まで以上のご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



上村紙業株式会社 SDGs 宣言

上村紙業株式会社は、持続可能な社会の実現を目指して積極的に活動を推進します。



会社沿革(あゆみ)

- | | |
|----------------|--|
| 大正8年
1919年 | 博多に於て紙箱の製造を開始[創業]した |
| 大正9年
1920年 | 八幡市に移転、官営八幡製鐵所との取引開始 |
| 昭和22年
1947年 | 八幡製鐵所より活版印刷機の払下げを受け、八幡西区大字藤田1460番地の4に於て借受工場に設置し「合名会社上村紙製品工場」を設立「会社としての創立」復業成る |
| 昭和24年
1949年 | 「合名会社上村紙器印刷工業所」と改称、本店を小倉北区上到津3丁目47番地に移転 |
| 昭和27年
1952年 | 片面段ボール機新設により段ボール箱の製造に着手し紙器工場を増築、同年9月株式会社洞海洋紙店を吸収合併し現称号「上村紙業株式会社」に改称 |
| 昭和35年
1960年 | 事務所(鉄筋コンクリート三階建延476m ²)、印刷製本、製箱トムソン工場(鉄骨二階建延2,114m ²)を新築、印刷機他諸設備を更新の上、移設拡充強化を行う |
| 平成5年
1993年 | 企画デザイン室を発足させMacを導入、DTPを行う |
| 平成7年
1995年 | パッケージ部門の企画から設計一貫を図るべくCAD並びにサンプルカッター導入 |
| 平成10年
1998年 | クリーンルームを新設
サンエンジニアリング社製ストレートグルアーSR1000M4型を導入 |
| 平成17年
2005年 | エコアクション21 認証取得 (2005年3月4日) |
| 平成18年
2006年 | パッケージ美粧箱の需要に応えるため、
ハイデルベルグ社 XL?105 菊全5色・水性ニスコーター付印刷機導入、
三和製作所製 全自動平盤打抜機 TRP?1060SE II 増設 |
| 平成20年
2008年 | ISO9001:2000年版認証取得認証機関DNV |
| 平成26年
2014年 | 専門性と工場の効率化をはかるため、大手町工場と行橋工場を苅田事業所へ移転統合
苅田事業所を上村紙工株式会社として分社化 |
| 平成29年
2017年 | 小倉北区高浜に小倉工場開設し、パッケージ製造ラインを到津事業所より移転、
本社・到津事業所を現在地へ移動
ISO9001:2015年版に移行、小倉工場認証範囲拡大
小倉工場 エコアクション21 認証範囲拡大
製函作業の効率化を図る為、サンエンジニアリング社製 ストレートグルアーBL-650を導入 |
| 令和元年
2019年 | 上村紙業創立100周年記念 |
| 令和4年
2022年 | ISO9001:認証返上、2022年7月2日をもってISO認証解約
北九州SDGs登録制度、2022年8月1日 登録 |

I. 「エコアクション21」登録状況

(1)エコアクション21、初回認証登録	上村紙業株式会社、到津事業所 (認証・登録番号:0000133)	2005年 3月
(2)小倉工場移転	紙器製造主要工程を小倉北区高浜に移転	2017年 1月
(3)到津事業所移転	道路を隔てたフォーム工場側に本社機能移転	2017年 4月
(4)エコアクション21認証更新	ガイドライン2017年版	2021年 3月
	更新審査認証合格(有効期限:2025年3月3日)	2023年 3月

II. 上村紙業株式会社の概要

(1) 事業者名および代表者名

上村紙業株式会社

代表取締役社長 上村篤弘

(2) 所在する事業所

* 本社・印刷パッケージ到津事業所
* 小倉工場

(3) 所在地

本社・印刷パッケージ到津事業所

〒803-0845
福岡県北九州市小倉北区上到津3丁目5-10

小倉工場

〒802-0021
福岡県北九州市小倉北区高浜1丁目6-46

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者

畑島 久範

事務局 小倉工場

担当者

畑島 久範

電話:093-967-0100 FAX:093-967-0550
MAIL: h-hatashima@uemura-shigyoo.co.jp

(5) 事業内容

一般印刷及び紙器の製造販売 段ボール箱及び包材の販売

(6) 事業規模

* 2017年1月6日より小倉工場移転・稼働開始

活動規模を示す項目	年次 単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		73期	74期	75期	76期	77期
主要製品生産量	t	441	323	294	226	240
従業員	人	48	40	40	38	36
床面積	到津事業所	m ²	2,193	2,193	2,193	2,193
	小倉工場	m ²	2,170	2,170	2,170	2,170
	事業所合計	m ²	4,363	4,363	4,363	4,363

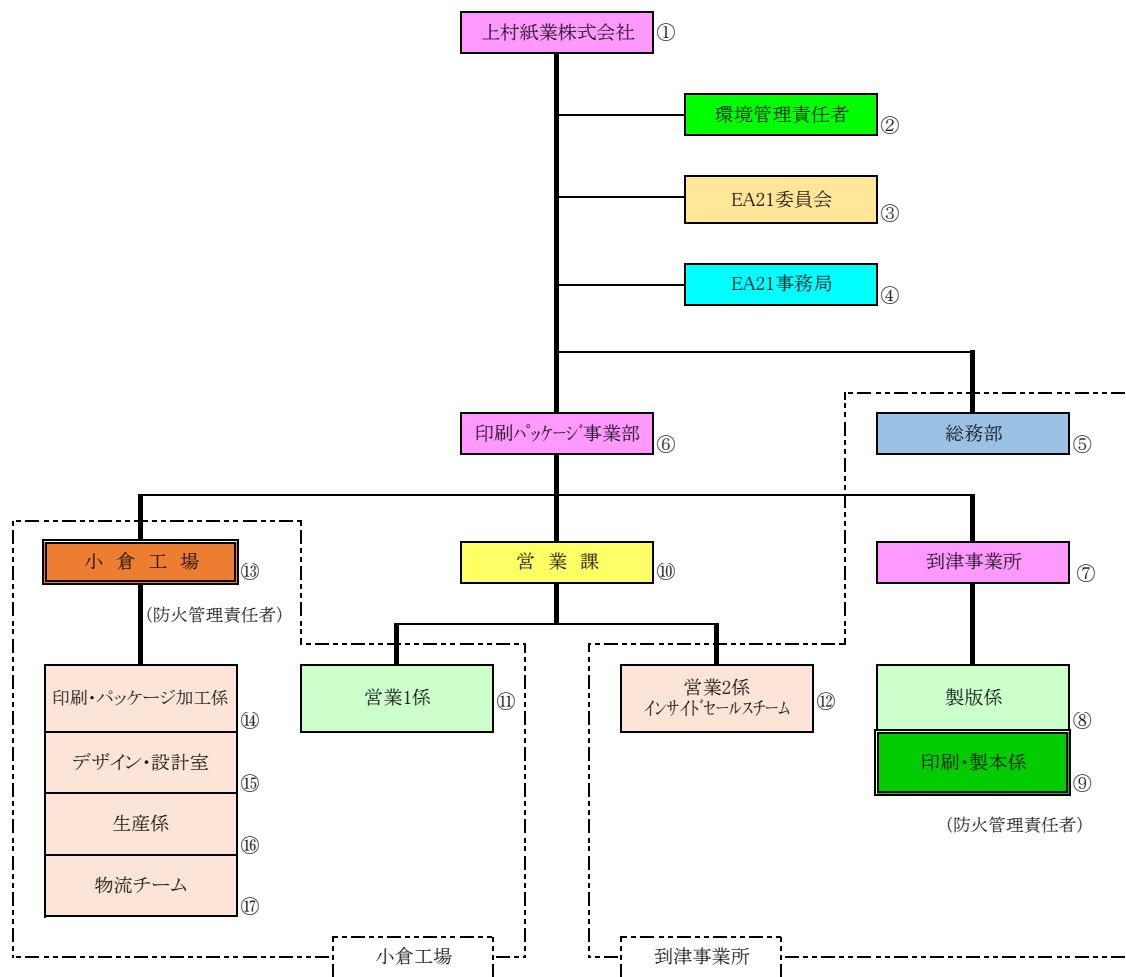
(7) 認証登録の対象範囲

上村紙業株式会社、全組織及び全活動とする。

組織図(P-2)に示す

上村紙業株式会社 77期環境組織図(エコアクション21推進組織図)

《2022.6.1 改訂版》



役割分担表(本社、印刷パッケージ事業部)

2022.06.01作成

氏名	所属	役割・権限・責任
① 上村紙業株式会社	代表取締役社長	全体統括、環境経営方針/環境経営目標策定、経営資源の準備 マネジメントレビュー開催、EMS取組状況の確認・評価・見直し
② 環境管理責任者	環境管理責任者 (EA21委員会 EA21事務局)	上村紙業のEMSを構築・運用、環境経営計画策定 外部からの苦情・要望対応、環境経営レポート作成、MRインプット
③ EA21委員会	EA21委員会	EA21委員会主宰
④ EA21事務局	印刷パッケージ事業部 生産係 EA21事務局	環境コミュニケーションの実施 EA21文書と記録の作成・維持・管理をおこなう

事業部

⑤ 総務部	総務部	本社総務部の活動実施責任者
⑥ 印刷パッケージ事業部	印刷パッケージ事業部	印刷パッケージ事業部の活動実施責任者 緊急事態への準備及び対応

到津事業所 製造課

⑦ 到津事業所 製造課	到津事業所 製造課	到津事業所の活動実施責任者 緊急事態への準備及び対応
⑧ 製版係	製版係	製版係活動実施責任者
⑨ 印刷・製本係	印刷・製本係	印刷・製本係活動実施責任者兼到津事業所防火管理責任者 緊急事態への準備及び対応

営業課

⑩ 営業課	営業課・営業1係、2係統括	営業課の活動実施責任者
⑪ 営業1係	営業1係	営業1係活動実施責任者
⑫ 営業2係	営業2係・インサイトセールsteam	営業2係活動実施責任者

小倉工場 製造課

⑬ 小倉工場 製造課	小倉工場 製造課	小倉工場の活動実施責任者兼防火管理責任者 緊急事態への準備及び対応
⑭ 印刷・パッケージ加工係	板紙パッケージ加工係	板紙パッケージ加工係活動実施責任者
⑮ デザイン・設計室	オフセット印刷係	オフセット印刷係活動実施責任者
⑯ 生産係	デザイン・設計室	デザイン・設計室活動実施責任者
⑰ 物流チーム	生産係	生産係活動実施責任者
	物流係	物流係活動実施責任者

Ⅲ. 環境経営方針

【基本理念】

私たち上村紙業は、経営理念「なるほど提供カンパニー」に掲げている通り、地球環境との共生・調和、そして地球環境保全への取り組みを重要課題として認識し、自ら責任を持ち、全社一丸となって環境に配慮した事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。

【基本方針】

私たちは、印刷・紙器・段ボールの設計開発及び製造に関わるあらゆる活動において、地球環境に影響を与える課題を明確に捉え、継続的な環境負荷の低減に取り組む上でのチャンスを活かし、以下の具体的な環境活動を実施します。

1. 環境関連の法律、規制、協定などの遵守及び社内標準の整備を行い、環境保全に努めます。
2. 地球環境の保全を推進するために、その責任を明確にした環境管理体制の組織強化を図ります。
3. 上村紙業が行う事業活動において、以下の環境経営目標を策定する項目として掲げ活動を実施してまいります。
 - ① 事業活動で発生する廃棄物の量の削減とリサイクルに取り組みます。
 - ② 事業活動で使用する電気・燃料を減らし、二酸化炭素排出量の削減に繋がります。
 - ③ 事業活動で使用する上水の削減に取り組みます。
 - ④ 事業活動で使用する化学物質の量を削減します。
 - ⑤ 事業活動で生産・提供する製品の環境負荷状況を把握し、リサイクル可能な製品設計、省エネ型の商品の開発に努めます。
4. 全ての社員に対して、環境に関する教育・訓練を行い、環境保全の意識及び能力向上を図ります。
5. この環境経営方針を社内外に公表します。

2018年6月1日改訂
上村紙業株式会社
代表取締役社長 上村篤弘

IV. 環境経営目標と実績

IV-1. 77期目標及び、達成状況①

1. 77期(2022年6月～2023年5月)目標と実績

表-1 前期第76期の実績と当期77期の設定目標ならびに実績・評価

項目	内容 負荷量	基準値 (76期の実績値)	77期		判定 目標値からの削減率 ○:達成 ×:未達成	
			目標 (76期1%削減)	実績		
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2)	146,504.2	145,039.2	137,181.3	○:達成...△5.4%	
電力	消費電力(kWh)	250,823.0	248,314.8	235,648.0	○:達成...△5.1%	
	ガソリン	消費量(ℓ)	7,198.2	7,126.2	6,885.7	○:達成...△3.4%
	軽油	消費量(ℓ)	3,628.0	3,591.7	3,206.6	○:達成...△10.7%
廃棄物総排出量	総量(kg) (産業廃棄物+事業系一般)	7,548.0	7,472.5	7,378.0	○:達成...△1.3%	
水資源投入量	総量(m ³)	710.9	703.8	441.2	○:達成...△37.3%	
化学物質	n-ヘキサン、他(kg)	4.10	4.06	3.57	○:達成...△12.1%	
環境対応製品	環境負荷低減(設計・開発提案件数)	14	16	16	○:達成...±0	
社会貢献活動	板櫃川清掃(1/3か月:年4回)	4	4	4	○:達成...±0	
	会社周辺清掃活動(毎月:年12回)	12	12	12	○:達成...±0	

★CO2排出係数=0.479kg-CO²/kwh : 2020年度 九州電力による実際の排出量(基礎排出量)から算出された調整後排出係数の値

通期トータルの実績をみると、全ての項目において今期掲げた目標値から更に1%以上の削減を達成することができた。

(前期実績より2%超の達成)

2. 中・長期目標

二酸化炭素排出量、廃棄物、上水使用量について、77期の実績値1%削減を目標として定め、中・長期(3年間)の具体的数値を示す。

表-2 3ヶ年(78期、79期、80期)の目標値

項目	内容 負荷量	基準値 77期の実績値	78期	79期	80期	
			2023.6～2024.5 目標値	2024.6～2025.5 目標値	2025.6～2026.6 目標値	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2)	137,181.3	135,809.5	134,451.4	133,106.9	
電力	消費電力(kWh)	235,648.0	233,291.5	230,958.6	228,649.0	
	ガソリン	消費量(ℓ)	6,885.7	6,816.8	6,748.6	6,681.1
	軽油	消費量(ℓ)	3,206.6	3,174.5	3,142.8	3,111.3
廃棄物総排出量	総量(kg)	7,378.0	7,304.2	7,231.2	7,158.9	
水資源投入量	総量(m ³)	441.2	436.8	432.4	428.1	
化学物質	1,2,4-トリメチルベンゼン他7種(kg)	3.57	3.53	3.50	3.46	
環境対応製品	環境負荷低減(設計・開発提案件数)	16	16	16	16	
社会貢献活動	板櫃川清掃(1/3か月:年4回)	4	4	4	4	
	会社周辺清掃活動(毎月:年12回)	12	12	12	12	

★排出係数=0.479kg-CO²/kwh:2020年九州電力調整後排出係数

3. 77期の達成状況-1

① <<二酸化炭素の排出量について>>

77期(2022年6月～2023年5月)の到達事業所及び小倉工場に於ける二酸化炭素総排出量について、76期実績値を基準としてその1%削減を目標として取り組んできたが、その目標値を更に4.4ポイント超える結果となった。(▲5.4%)

76期実績値=146,504.2(kg-CO₂) → (1%削減) → 77期目標値=145,039.2(kg-CO₂) → 77期実績値=137,183.5(kg-CO₂)

目標:1,465(kg-CO₂)の削減

実績:目標値から更に、7,855.7(kg-CO₂)の削減

但し、年間を通して具体的な節電対策を講じた訳でもなく、機械設備等々の改善で導かれた結果でもないところが、この結果を手放して喜ばないところであることは言うまでもない。

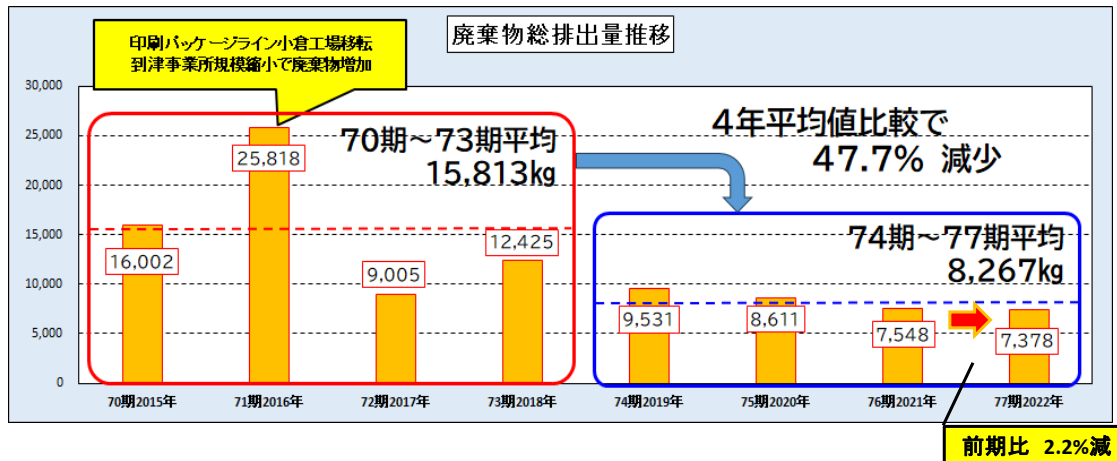
新型コロナウイルス感染症の拡大、インバウンド需要の消滅による大幅な生産数量の激減、稼働時間の圧縮により必然的に消費電力及び、営業・物流車両の燃料消費量が減少し、二酸化炭素の総排出量が削減された状況となった。今後インバウンドが回復見込みである中、生産増に展開したときに備え節電、省エネ意識を高め、こまめな消灯やエアコンフィルター定期洗浄、エアコン温度設定等々の節電対策を継続する中で、より具体的な節電対策を進める必要がある。

IV-2. 77期目標及び、達成状況②

3. 77期の達成状況-2

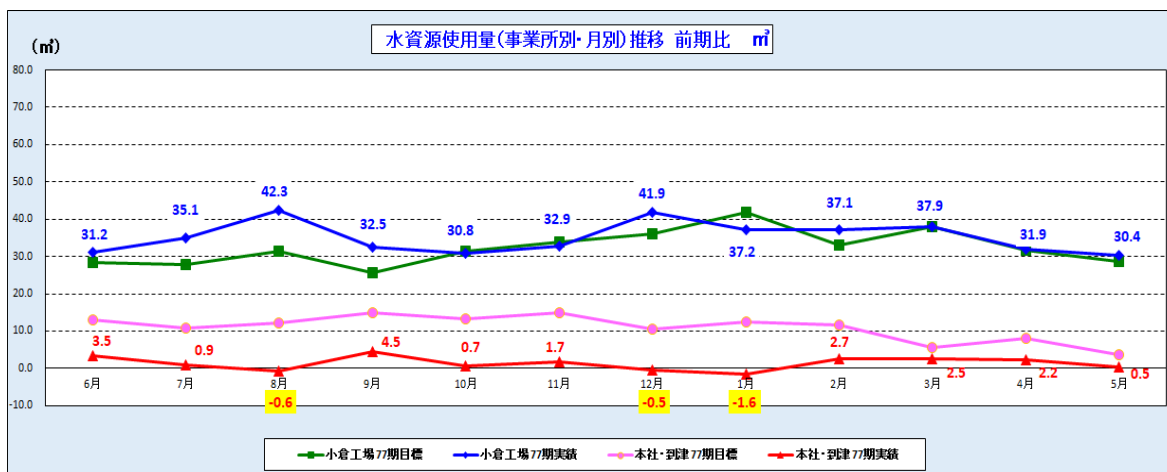
② < 廃棄物総排出量について >

徐々に削減できてきている中、過去8年間を4年分の平均値で区切ると、47.7%減少



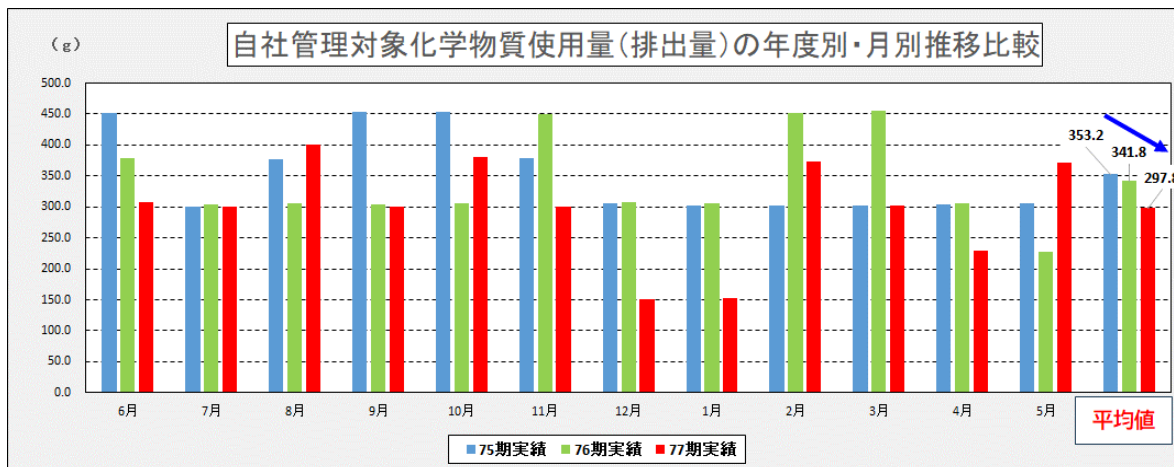
③ < 水資源投入量について >

到津事業所から小倉工場への異動、人員削減により水使用量大幅に削減した。



④ < 化学物質について >

化学物質管理としては、溶剤やスプレー糊等5種類、含有の化学物質として7品目についてその使用量から排出量を割り出して管理しているが、77期に関しては生産数量の落ち込みによる影響で大幅な削減となった。



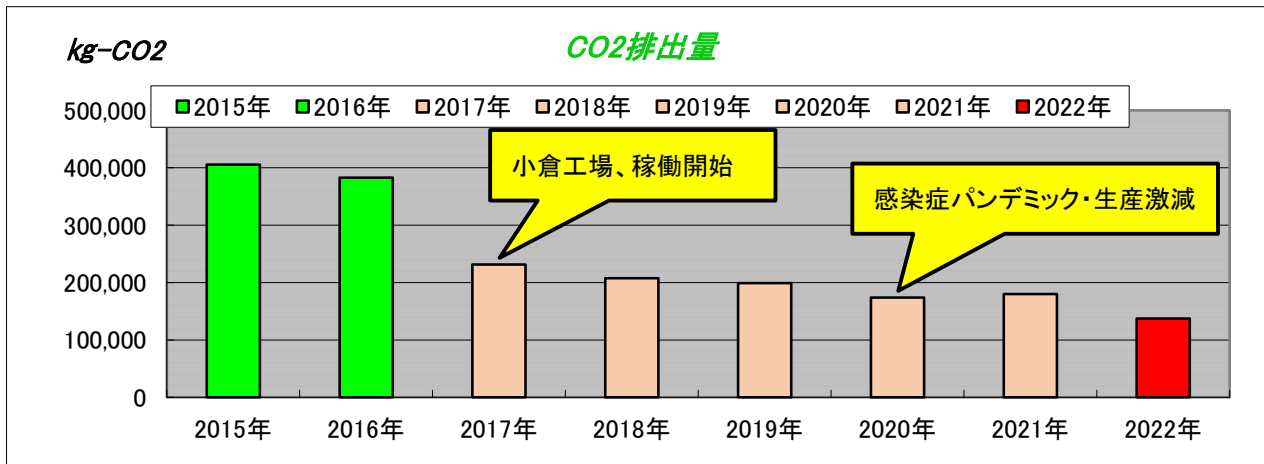
IV-3. 環境推移グラフ

実績グラフ、 到津事業所+小倉工場 における2015年～過去8年間の推移で見ると・・・
 (*大分営業所2016年度まで、 *小倉工場2017年1月より稼働スタート)

単位: kg-CO₂

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
CO ₂ 排出量	405,329	382,708	231,363	207,497	198,991	173,784	179,924	137,184
							146,504	137,184

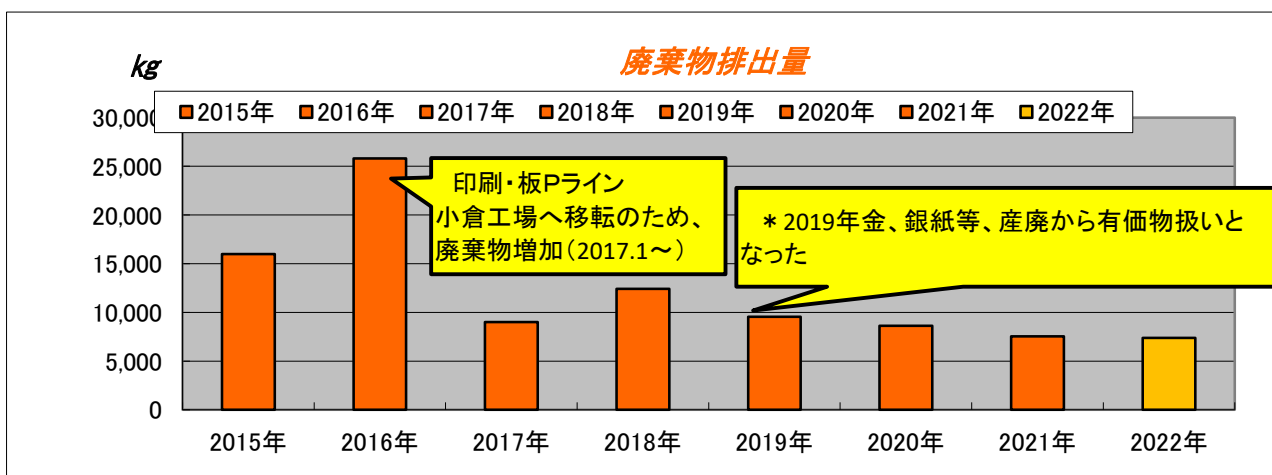
*2015年～2022年5月まで、九州電力2012年排出実係数0.612kg-CO₂/kwh
 (*2022.6より係数0.479kg-CO₂/kwh採用)



*2017年1月より小倉工場稼働開始

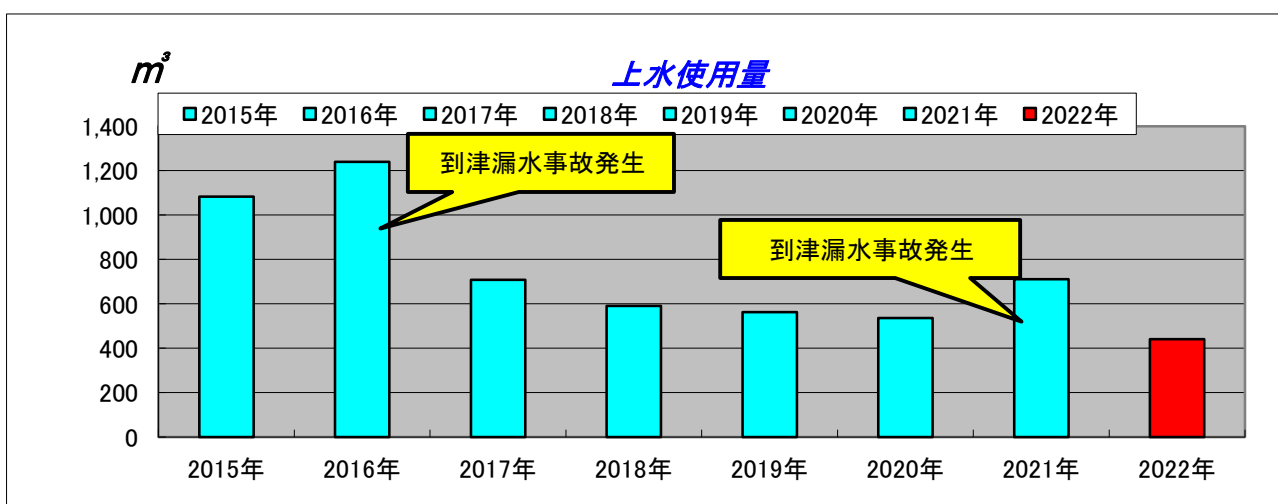
単位: kg

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
廃棄物排出量	16,002	25,818	9,005	12,425	9,531	8,611	7,548	7,378



単位: m³

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
上水消費量	1,083	1,240	708	591	562	536	711	441

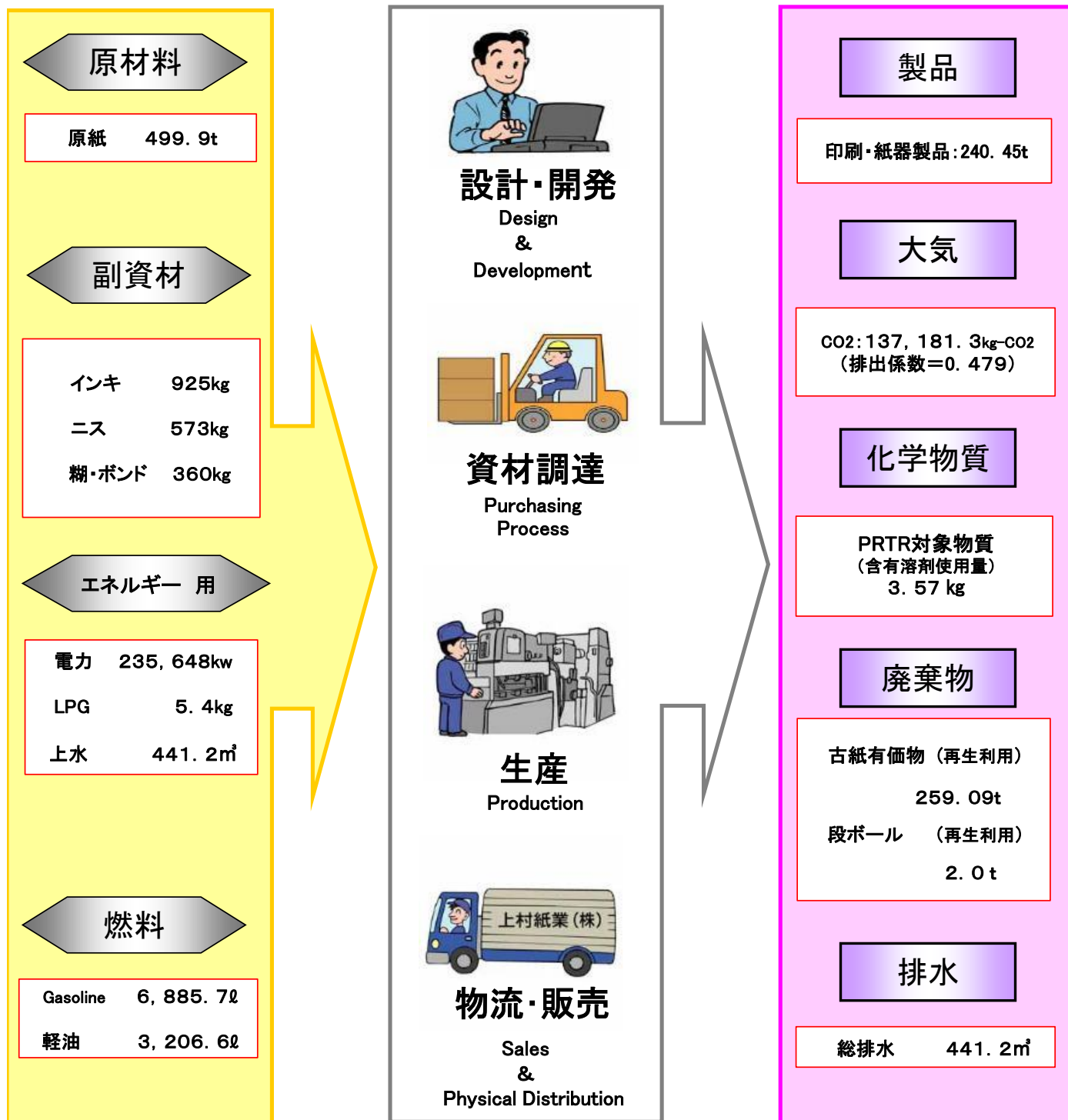


Material Balance

Input

Process

Output



V. 環境経営活動計画と実績、評価

V-1. 環境負荷削減活動



77期(2022年6月1日～2023年5月31日)以下の取組をしました。

事項	活動計画	活動項目	実績	評価
二酸化炭素 排出量の削減	1 電気使用量 削減 (76期実績値より1%削減)	空調の設定温度を決める	冬季19℃ 夏季28℃(室温)に設定	○
		空調装置のフィルター清掃を定期的(3ヶ月毎)に実施	確実に実施された	
		デマンドコントロールによる電力消費上限管理	警報発令時のアクション計画、実施	
		照明器具の点検、節電	都度目視確認、昼休み消灯実施	
		使用量グラフ掲示	使用量グラフ掲示 見エル化	
	2 ガソリン使用量 削減 (76期実績値より1%削減)	急発進、急ブレーキ禁止	移動通信システムで管理、発生都度報告	△
		高速道速度超過防止(100km/h以下)監視	移動通信システムで管理、発生都度報告	
		低排出ガス車に更新	ガソリン車→燃料電池自動車に更新	
	3 軽油使用量 削減 (76期実績値より1%削減)	トラック保守点検	日常点検、定期点検実施	○
配送車両減車		配送ルート見直し、重複配送減		
効率の良い配送計画		職場長計画作製		
廃棄物排出量の 削減	4 一般廃棄物 (76期実績値より1%削減)	使用済み封筒の再利用	社内回覧用として再利用	○
		使用済みコピー用紙の裏紙の利用	片面損紙集荷用トレイ製作、裏面メモ紙活用	
	5 産業廃棄物 (76期実績値より1%削減)	ヤレ紙分別により有価物と産廃紙くずを明確に識別	分別は確実に実施された	○
		再生不可原紙から再生可能原紙への変更促進	顧客に提案	
		排出量グラフ掲示	排出量グラフ掲示 見エル化	
水使用の削減	6 上水使用量 削減 (76期実績値より1%削減)	水道使用量の自主検針	1ヶ月ごとに水道メーターの自主検針実施	○
		水道配管の漏水検査	半期ごとに点検(点検頻度増やした)	
		使用量グラフ掲示	使用量グラフ掲示 見エル化	
化学物質の削減	7 化学物質 (76期実績値より1%削減)	PRTR法該当化学物質の把握	使用溶剤のSDS入手、関係者に配付	○
		PRTR法、有機則、消防法該当物質含有溶剤把握		
		1,2,4-トリメチルベンゼン他7種の使用量集計	使用職場(オフセット、フォーム、技術開発室)で集計、管理	
環境負荷低減 製品の開発	8 16件提案 (デザイン=4件、設計=12 件)	技術開発室 Reduce Reuse Recycleに資する開発	技術開発:12件提案	○
		企画デザイン室 Reduce Reuse Recycleに資する提案	企画デザイン室:4件提案	

V. 環境経営活動計画と実績、評価

V-2. 環境保全活動

計画項目	活動内容と結果	評価
1. 組織体制の定着化	1 環境組織図改定。(期初:2022年6月1日)。	○
	2 環境経営レポート(2023年11月、77期版)を作成。	△
	3 全社員に対して環境経営方針が記載された社員カードを配布。(2022年6月1日)	○
	4 エコアクション21委員会定期開催(四半期ごと 7、10、1、4月)した。	○
2. 消防・避難訓練 到津事業所、小倉工場 1回/年	到津事業所 日時:2022年11月4日(金) 9:30~13:00 ※消防設備点検のみ実施。 消火訓練、避難訓練は机上想定のみ。	△
	小倉工場 日時:2022年10月27日(木) 11:45~12:00 場所:上村紙業小倉工場 デザイン室OA機器からの出火を想定	○
3. 緊急対応訓練 (車両OIL漏れ想定)	到津事業所 日時: 76期 2022年1月19日(水) 8:50~9:15 場所:到津事業所、駐車場敷地内にて実施以降未実施。	×
3. 緊急対応訓練 (廃油倉庫油漏れ想定)	小倉工場 日時: 76期 2022年1月20日(木) 16:00~16:30 場所:廃油廃液置き場、廃油漏洩事故を想定して実施後未実施。	×
4. 改善提案活動及び5S活動における 省エネ、環境対策	職場単位での潜在する環境リスクの洗い出し。省エネの推進。	△
	製造現場で職場単位の節電対策計画、実行。	○
5. 安全衛生委員会と連携した環境活動 ①開催日:1回/月 安全委員会会議 ②安全衛生パトロール 1回/半期 ③5S巡回指摘事項の改善 ④危険物取扱の状況改善 ⑤有機溶剤等環境管理物質の管理 ⑥潜在する環境リスクの洗い出し ⑦社会貢献、ボランティア活動への参加	1 全使用溶剤SDS、ICPデータ入手 PRTR法、有機則、消防法該当物質調査	○
	2 全上の文書管理、配付	○
	3 PRTR法該当物質含有溶剤 代替品の調査、変更	○
	4 有規則第1、第2種有機溶剤全廃	○
	5 危険物置場および危険物の管理状況チェック	○
	6 隣接「板櫃川」「到津の森周辺」の清掃 3ヶ月ごと実施した	○
	7 到津事業所、会社周りの側溝の清掃 各職場持ち回りで毎月励行	○
	8 小倉工場敷地内清掃活動をマツモト様と繁忙期を避けて交代で実施	○
5. 生産活動、品質管理活動における環境 ・エコ運動の実現 ①不良の削減 ②紙くずの分類処分 ③ISO9001認証経験を活かした活動	ヤレ(損紙)の削減のため、投入予備紙の削減を徹底した	○
	資源投入量を削減するために、不良を撲滅する活動を強化した	○
	生産活動で排出される損紙(紙くず)を、有価物と産業廃棄物に分別	○
	認証制度そのものは解約したが、品質管理のノウハウは一部継続。(点検・検査票	○
6. 営業活動における環境・エコ運動 ①エコ商品の開発 ②エコ商品のWeb上でのPR ③再生可能原紙へ切り替え促進 ④環境負荷低減製品の提案	LCコートホログラムのパッケージサンプル作成 …	○
	アイセールスによるweb上でのPR~販促活動を2022年4月22日キックオフ	○
	環境負荷低減製品の設計開発12件、デザイン4件、合計16件提出	○

V. 今期環境経営計画と実績

上村紙業(株)小倉工場

2022.06.01作成

V-3. 今期(77期 2022年6月～2023年5月)の活動計画
この1年、以下の項目に取り組みます

I	目標項目	活動目標	活動項目	責任者	スケジュール																	
					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
I	二酸化炭素排出量	(76期実績) 1%削減	1 購入電力削減	1 エアコンの室温温度管理(ラベル再点検、配付)	E A 2 1 事務局	■																
				2 エアコンフィルターの定期清掃	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				3 エアコン室外機の洗浄・簡易点検 (改正フロン法対象機)	E A 2 1 事務局	■			■			■										
				4 照明器具の管理、点検、節電	該当職場長	■			■			■										
				5 効率的な水性ニス印刷計画	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
				6 リーチリフトの効率的な充電	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		2 ガソリン使用量削減	1 テレマティクスによる管理 急発進・急ブレーキ	総務部	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			2 急発進・急ブレーキ発生防止、安全指導	営業課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			3 テレマティクスによる管理 長時間アイドルリング	総務部	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			4 長時間アイドルリング発生防止、指導	営業課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
3 軽油使用量削減	1 フォークリフトの保守、点検	資材倉庫担当者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
II	廃棄物排出量	(76期実績) 1%削減	1 廃棄物(紙くず) 排出量削減	1 歩留まり改善	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
				2 良品率改善	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				3 予備紙の割り当て基準の見直しと実施	生産係担当者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				4 廃棄物置場の管理	E A 2 1 事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		2 リサイクルの徹底	1 紙の分別 雑古紙、雑誌、模造紙、段ボールなど	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			2 業者との契約見直しまたは更新 契約書(外部文書)管理	担当部門長	■																	
			3 一般廃棄物の削減	1 両面コピー実施	営業課・管理課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
III	使用水道	(76期実績) 1%削減	1 工場使用量の削減	1 節水ラベル再点検、配付、節水喚起	該当職場長	■							■									
				2 効率的な水性ニス印刷計画	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			2 事務所使用量の削減	1 節水ラベル再点検、配付、節水喚起	該当職場長	■									■							
				3 漏水、施設不全の点検	1 水道使用量のチェック(検針)	E A 2 1 事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			IV	化学物質使用量	削減	1 化学物質の管理	1 P R T R法該当化学物質 把握、削減、取扱、保管	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2 有機溶剤含有 把握、削減、取扱、保管	該当職場長	■					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
3 S D S、I C Pデータの完全収集、文書管理	品質保証	■														■						
V	貢献社会	着手	1 地域環境活動	1 工場敷地内の清掃 1ヶ月ごと	安全衛生推進委員会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
			2 環境保全活動	1 漏洩拡散防止対策品の設置・点検・訓練実施 (社用車への展開)	E A 2 1 事務局・該当職場長・営業課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
VI	設計・開発	推進	1 「3R」製品の開発・販売	1 3 Rを意図した製品	営業・開発・デザイン	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
			2 紙の素材の再認識活動	1 紙以外の素材を紙に置き換える試み	営業・開発・デザイン	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
VII	その他	着手	1 掲示物の最新化	1 環境目標グラフ、環境関連資料作成、配付	E A 2 1 事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
				2 掲示物の最適化 陳腐化した掲示物排除、最新版掲示	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			2 EA21活動への意識の強化	1 E A 2 1 委員会の開催と内容の充実化	E A 2 1 委員会		■															
				1 安全パトロールの実施	安全衛生推進委員会	■																
3 環境リスクの洗いだし	2 安全パトロール指摘箇所改善	該当職場長	■																			

□:計画 ■:実施

V. 今期環境経営計画と実績

上村紙業(株) 到津事業所

2022.06.01作成

V-3. 今期(77期 2022年6月～2023年5月)の活動計画

この1年、以下の項目に取り組みます

I	目標項目	活動目標	活動項目	責任者	スケジュール																
					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月					
I	二酸化炭素排出量	(76期実績) 1%削減	1 購入電力削減	1 エアコンの室温温度管理(ラベル再点検、配付)	E A 2 1 事務局	■															
				2 エアコンフィルターの定期清掃	該当職場長	■			■												
				3 エアコン室外機の洗浄・簡易点検(改正フロン法対象機)	E A 2 1 事務局		■														
				4 デマンドコントロールによる電力管理	総務部	■	■	■	■				■	■	■	■					
				5 デマンドコントロール警報対応	該当職場長	■	■	■	■				■	■	■	■					
				6 照明器具の管理、点検、節電	該当職場長	■			■				■						■		
				7 フォームUV印刷の効率的な計画	該当職場長		■	■	■				■	■							
			2 ガソリン使用量削減	1 テレマティクスによる管理 急発進・急ブレーキ	総務部	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
				2 急発進・急ブレーキ発生防止、安全指導	安全運転管理者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
				3 テレマティクスによる管理 長時間アイドリング	総務部	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
4 長時間アイドリング発生防止、指導	安全運転管理者	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
3 軽油使用量削減	1 リフトの保守、点検	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
II	廃棄物排出量	(76期実績) 1%削減	1 廃棄物(紙くず)の削減	1 歩留まり改善	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
				2 良品率改善	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				3 廃棄物置場の管理	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			2 リサイクルの徹底	1 紙の分別 雑古紙、雑誌、模造紙、段ボール	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				2 業者との契約見直しまたは更新 契約書(外部文書)管理	担当部門長	■															
				3 一般廃棄物の削減	営業課・管理課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
III	水道使用量	(76期実績) 1%削減	1 工場使用量の削減	1 節水ラベル再点検、配付、節水喚起	該当職場長	■						■									
			2 事務所使用量の削減	1 節水ラベル再点検、配付、節水喚起	該当職場長	■								■							
			3 漏水、施設不全の点検	1 水道使用量のチェック(検針)	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
IV	化学物質使用量	減量削減	1 化学物質の管理	1 P R T R法該当化学物質 把握、削減、取扱、保管	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
				2 有機溶剤含有 把握、削減、取扱、保管	該当職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				3 SDS、ICPデータの完全収集、文書管理	品質保証	■								■							
V	貢献会	着手	1 地域ボランティア活動	1 板櫃川、到津の森公園周辺の清掃 3ヶ月ごと	安全衛生委員会	■			■			■				■					
				2 会社周りの側溝清掃 毎月輪番制	安全衛生委員会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
VI	設計・開発	推進	1 「3R」製品の開発・販売	1 3Rを意図した製品	営業・企画デザイン室	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
				2 紙の素材の再認識活動	1 紙以外の素材を紙に置き換える試み	営業・企画デザイン室	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
VII	その他	着手	1 掲示物の最新化	1 環境目標グラフ、環境関連資料作成、配付	E A 2 1 事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
				2 掲示物の最適化 陳腐化した掲示物排除、最新版掲示	各職場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			2 EA21活動への意識の強化	1 E A 2 1 委員会の開催と内容の充実化	E A 2 1 委員会																
				3 環境リスクの洗いだし	1 安全パトロール	安全衛生委員会	■							■							
			2 安全パトロール指摘箇所改善	2 安全パトロール指摘箇所改善	各職場長	■							■								

□:計画 ■:実施

VI. 関係法令

環境関連法規に関する違反・訴訟・苦情等の有無
および行政への届出義務の履行

1 環境関連法規の違反、訴訟、苦情等の有無と対処について

※自社の環境関連法規として、特に周辺地域との関りが深いと考えられる、
①廃棄物の処理及び清掃に関する法律、②フロン排出抑制法(改正フロン法)、
③消防法 等々6つの環境関連法規についてその遵守状況を自己チェックした結果
違反は見当たらなかった。また、外部からの訴訟や苦情等は受けなかった。

- (
環
境
関
連
法
規
)
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 - ・フロン排出抑制法(改正フロン法)
 - ・消防法
 - ・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)
 - ・改正省エネ法
 - ・労働安全衛生法

2 環境関連法規に関わる行政への届出義務(または協力)の履行について
(・該当案件に対し、北九州市ホームページ 専用入力シートにて提出協力)

①「産業廃棄物管理表交付等状況報告書」の提出

北九州市環境局産業廃棄物対策室 2022年6月30日提出

3 環境関連法規の遵守状況について

適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、
環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

VII. 代表者による全体の評価及び見直し・指示

*77期活動結果と評価、78期への展望、見直し・指示

評価	1.組織体制の定着化	組織体制は定着化している。
	2.3.異常・緊急時の訓練	到津事業所は消防設備点検のみ、小倉工場は避難訓練を実施し、経路等の確認を行った。
	4.改善・5S活動	職場単位での環境負荷リスクの洗い出しとその対策が実施されている。5S活動は定着化されている。
	5.安全と連携した環境活動	化学物質に関するデータを入手し、代替品の調査、変更を実施した。会社周りの清掃は定期的に行われた。
	6.環境・エコ運動の実現	生産活動で生じる損紙の削減、及び分別によるリサイクルの推進が行われた。
	7.環境に配慮した営業活動	環境負荷低減につながるパッケージの提案件数の目標を達成した。
	環境経営システムが有効に機能しているか	環境経営目標を達成するための活動が有効に機能している。
	変更の必要性と指示	活動の評価
(2) 廃棄物の排出量削減は目標を達成できたが、生産量減少が継続している要因も否めない。		
(3) 上水使用量は目標を達成できた。		
(4) 化学物質は、削減目標を達成できた。		
(5) 環境負荷低減製品の目標件数を達成できた。		
実施体制		組織体制の見直しの必要性なし。
環境経営方針		変更なし。
(78期) 来期環境経営目標及び環境経営計画		(1) 二酸化炭素排出量、上水使用量、廃棄物排出量ともに、77期実績の1%削減を目標とする。
		(2) 化学物質の使用量は極少量にとどめているが引き続き削減・代替に努める。
		(3) 非常事態時の訓練では、地震や津波(高潮)等の自然災害を想定した避難訓練を導入する。
	(4) 環境に配慮した製品の開発や提案目標は、設計(1件/月)、デザイン(1件/3ヶ月)、計16件とする。	
環境マニュアル・規定等	特に問題なし。	

VIII. 後付け活動成果 !

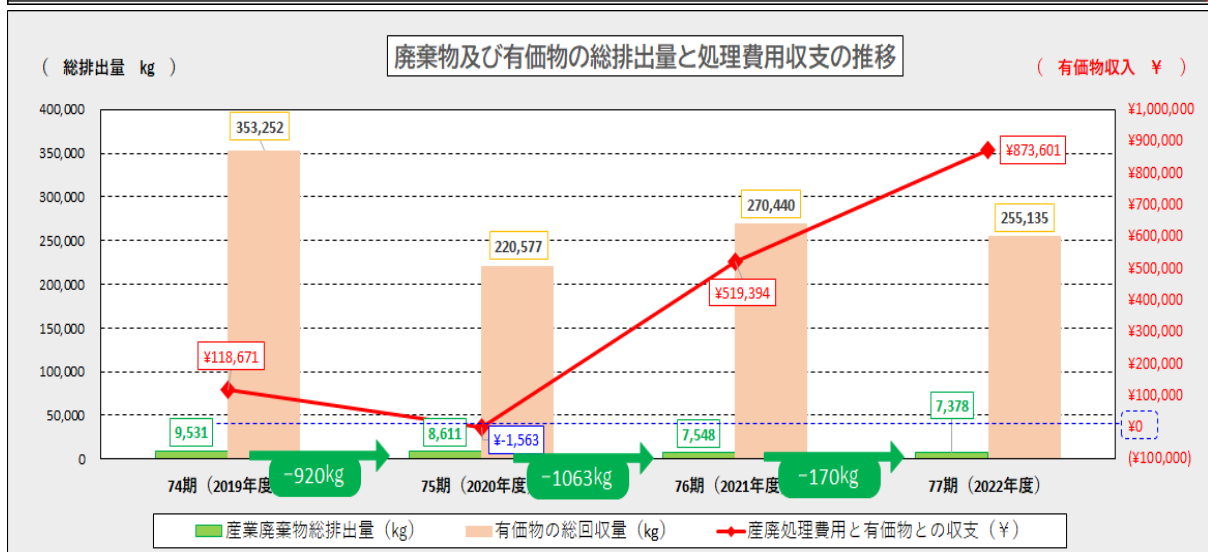
項目	内容		74期	75期	76期	77期
	負荷量(単位)		実績	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2)		198,991.5	173,679.1	179,923.5	137,181.3
電力	消費電力 (kWh)		274,269.0	235,914.0	250,823.0	235,648.0
ガソリン	消費量 (ℓ)		8,105.7	8,052.6	7,198.2	6,885.7
軽油	消費量 (ℓ)		4,727.5	4,064.1	3,628.0	3,206.6
廃棄物総排出量	総量 (kg) (産業廃棄物+事業系一般)		9,531.0	8,611.0	7,548.0	7,378.0
水資源投入量	総量 (m ³)		562.3	535.7	710.9	441.2
化学物質	n-Hキトン、他 (kg)		4.36	4.24	4.10	3.60
環境対応製品	環境負荷低減 設計・開発提案件数		13	12	14	16
			★CO2排出係数=0.612			★CO2排出係数=0.479

※過去4年間の年間実績のまとめを年度順に並べて比較検証してみると、廃棄物総排出量が目に見えて削減していることがわかる。特に目立った活動はしてなかったが、日々の専門回収業者との交渉の中で、リサイクル回収不可指定だった為に産業廃棄物として破棄していたものを、リサイクル用の資源として回収するように協力を得てきた賜物と言える。

G段から始まり、印刷前の断裁クズ、型抜き時の落丁クズ、金・銀等の箔押し品等々を回収業者との協議を重ね、評価検証等の協力もありリサイクル品として有効活用する道が開け、この結果に繋がったもの。有価物費用の変動が大きく起因しているが、有価物で得た利益が、産廃処理費用を大きく上回った。

	74期 (2019年度)	75期 (2020年度)	76期 (2021年度)	77期 (2022年度)
産業廃棄物総排出量 (kg)	9,531	8,611	7,548	7,378
産業廃棄物処理費用 (¥)	¥439,888	¥386,170	¥414,740	¥431,530
有価物の総回収量 (kg)	353,252	220,577	270,440	255,135
有価物の回収費用 (¥)	¥-558,559	¥-384,607	¥-934,134	¥-1,305,131
産廃処理費用と有価物との収支 (¥)	¥118,671	¥-1,563	¥519,394	¥873,601

(◆「有価物の回収費用」について、再資源化のために有価物として売却している為、金額をマイナスで入力)



★古紙の市場価格変動の影響が甚大
激しいときは日々変動有り!

回収単価 (75期6月実績)

- * 上級古紙 → ¥6.0/kg
- * 中級古紙 → ¥0.1/kg

上級古紙・・・1.4倍
中級古紙・・・60倍

回収単価 (77期6月実績)

- * 上級古紙 → ¥8.5/kg
- * 中級古紙 → ¥6.0/kg

◆産廃排出量については全体に比べれば微量ではあるが、ここ3年で2,153kg削減することができた。75期(2020年度)は、コロナの影響をもろに受け生産量そのものが激減する中で、古紙の回収単価も大幅な値下げとなったが、昨今は持ち直し、高騰する処理費用を賄って余る良好な結果に繋がった。これからも徹底した分別回収を進める中で、産業廃棄物の削減、マテリアルリサイクルの推進に取り組むことで、二酸化炭素の排出量削減、脱炭素化への貢献を目指す。

VIII. 後付け活動成果 ②

現行の古紙回収分別対応の紹介

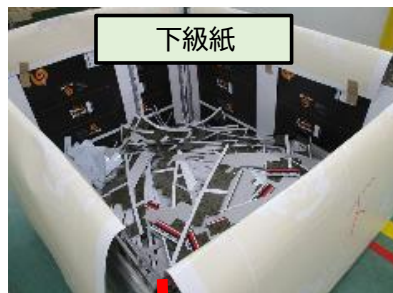
- ・産業廃棄物回収業者の(株)野原商会様ご協力のもと、回収用のラック、カゴを手配
- ・印刷前の仕上げ断裁で発生する細長い断裁クズ、原紙包装のクラフト紙(フィルム付)



- ・印刷室、断裁機前の専用回収ラックに分別して回収

※細長く切断された断裁クズは、紙の繊維が短く破断されており当初はリサイクル不可のため産廃で排出。

- ・トムソン型抜き時の落丁クズ、表面加工でフィルムが貼られた落ち紙、印刷のみの落ち紙をそれぞれ分別



※PP貼り、プレスコート等の表面加工紙は下級紙

※通常印刷のみ表面加工無し

※型抜き時の落丁クズも、紙の繊維が細かく破断されており過去はリサイクル不可紙だったが、現在は下級バラ紙で再資源として回収。



- ・その他外装箱用の段ボールやフィルム、テープ、ロール紙等の紙管も分別回収

ひと手間掛けて、しっかり分別すれば
有価紙、再資源として有効活用が可能
正しく識別、分別回収は今後も継続！



*E段石華黒(ラメ)、エースボールブラック等
黒色素の脱色不十分によりリサイクル不可。
*タック紙や外装箱開梱時のクラフトテープ等
もリサイクル不可紙として排出。

紙屑(有価物)					
上級	中級	下級	シュレッター	紙管	段ボール
上級古紙 (模造類)	中級古紙 (雑誌類)	下級古紙 (雑古紙類)	シュレッター 古紙	紙管	段ボール